植えて間もないカスミソウの苗

## 花卉部会

# カスミ・トルコを中心に

環境の変化により栽培も難しくなってきていますが、より良い花を届けるために部会員一丸となって努力しています。

部会長　野中 二裕

令和7年度　部会員64戸
栽培面積：2.5ha
出荷期間：9月～6月
出荷先：関東方面を中心に日本全国に出荷中

## 高品質・安定出荷、後継者育成に力

■熊本県は花の一大産地です。なかでもカスミソウは日本一、トルコギキョウが全国二位となっています。菊池地域では、そのカスミソウ・トルコギキョウを中心にパンパスグラス、湿地性カラー、ヒマワリなどいろいろな種類の花を生産しています。

■高品質・安定出荷を心がけていますが、ここ数年の夏から秋にかけての猛暑により、生育状況が読めなくなっています。草丈が短くなったり、生育が前進してしまい、狙った時期に出荷できないことが課題です。新品種の栽培試験や、高温対策資材を活用して対策を行っています。

■JA菊池では、新規就農者確保のため、令和5年度に新規就農育成事業の研修品目に宿根カスミソウを追加しました。令和7年4月より1名の就農希望者の方が研修を受けています。受け入れ農家は花卉部会に所属する生産者で、2年間の研修後に就農します。興味がある方はご相談ください。

主力品目のカスミソウとトルコギキョウには専門委員会を設置し、現地検討会の充実を図り、品質の向上に努めています。

# きくちのまんま

出荷前の厳しい検査

カスミソウ

トルコギキョウ

早朝より持ち込まれたカスミソウ、トルコギキョウは
生産者考案の花卉専用水槽で検査を待ちます

菊池市にある北営農センター 花卉集荷場